

| | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 工業外国語 (Technical English) | | 5 年・前期・2 学修単位 (α)・必修 電気工学科・担当 平井 誠 | |
| 〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2) | 〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (70 %)、C-2 (30 %) | 〔JABEE 基準〕 d-2a、f | |
| 〔講義の目的〕 工業英語は、卒業研究で多読することとなる科学技術論文や、実験装置の取扱いで読むことになる機器マニュアルで用いられているものであり、文章に対する正しい知識および理解が求められる。そこで、本講義では実社会で使用されている技術系英文を例に基本となる構文の復習を行った後、演習を積み重ねることで長文読解能力や英作文能力の向上に繋げる。 | | | |
| 〔講義の概要〕 講義では、工業英語の特徴に基づいた用法および構文について具体例を挙げながら解説を行う。また、講義で解説した基本文型に関する知識を基に様々な長文（電気理論、科学技術論文、新聞記事）の読解に挑み、演習を通して英作文能力の向上にも繋げる。 | | | |
| 〔履修上の留意点〕 語彙力の向上を心がけ、講義の復習を十分に行うこと。 | | | |
| 〔到達目標〕 前期中間試験： 基本文型および用法の理解 前期末試験： 技術英文の読解と作文 | | | |
| 〔自己学習〕 到達目標を達成するため、授業以外にも予習・復習を怠らないこと。 | | | |
| 〔評価方法〕 定期試験の結果を 75 %、レポート点および小テストの結果を 20 %、授業態度点（ノート作成点）を 5 %として評価する。 | | | |
| 〔教科書〕 プリントを配布して講義を行う。 | | | |
| 〔補助教材・参考書〕 谷口滋次、田中敏宏、飯田考道、J. D. Cox: 『英語で書く科学・技術論文』、東京化学同人 (1995)。 | | | |
| 〔関連科目〕 英語および専門基礎科目 | | | |

講義項目・内容

| 週数 | 講義項目 | 講義内容 | 自己 評価* |
|--------|------------|-----------------------------|-----------|
| 第 1 週 | 工業英語について | 工業英語の概要について | |
| 第 2 週 | 基本文型 | SV、SVC、SVO、SVOO、SVOC 型構文の復習 | |
| 第 3 週 | 命令文 | 命令文の基本用法と演習 | |
| 第 4 週 | 動詞 | be 動詞、一般動詞の基本用法と演習 | |
| 第 5 週 | 不定詞 | to 不定詞、原形不定詞の構文と演習 | |
| 第 6 週 | 動名詞 | 動名詞の構文と演習 | |
| 第 7 週 | 分詞 | 分詞構文の基本用法と演習 | |
| 第 8 週 | 関係代名詞 | 関係代名詞の構文と演習 | |
| 第 9 週 | 完了形 | 完了形の構文と演習 | |
| 第 10 週 | 接続詞 | 接続詞の構文と演習 | |
| 第 11 週 | 問題演習 (1) | 工業英語で使われる構文および用法に関する演習 | |
| 第 12 週 | 問題演習 (2) | 同上 | |
| 第 13 週 | 長文読解演習 (1) | 科学技術論文、新聞記事等を用いた長文読解 | |
| 第 14 週 | 長文読解演習 (2) | 同上 | |
| 第 15 週 | 総合演習 | 技術英文の作成における留意点 | |
| 前期期末試験 | | | |

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)